

平成24年 松江北高10大ニュース (日付順)

1 H24. 3. 25 **全国高等学校弓道選抜大会 女子団体優勝**

部活動団体優勝は、昭和58年合唱部のNHK全国学校音楽コンクールにおける最優秀賞受賞以来29年ぶりの快挙。
全国優勝記念のモニュメントを作製し、11月30日、中庭において、全校生徒の列席により、除幕式を行った。



2 3. 31 **国公立大学(現浪計) 213名合格**

東京大学4名、京都大学4名、国公立大学医学科13名を含む213名の生徒が国公立大学に合格した。私立大学の合格者数は、延べ290名であった。



放課後の北高 (3年生放課後の自主学習風景)

3 4. 1 **双松会員河原一郎 松江高校・松江北高第22代校長就任**

高校23期卒業生の河原一郎が、双松会員としては、5人目の学校長として就任した。



4 5. 25~6. 2 **第50回島根県高等学校総合体育大会 3年連続13度目の男子総合優勝**



男子総合の部において、13度目の優勝を飾った。男女総合の部は、惜しくも優勝出来ず4位であった。

(今年までの男女総合優勝の回数は、50年間の県総体の歴史において、昭和の時代に6回、平成の時代に17回、合計23回である。)

(県総体結団式)

5 7. 14 **世界ジュニア陸上競技選手権大会(スペインバルセロナ大会) 男子4×100mR銅メダル**



金森和貴(3年)が日本代表の一員として、男子4×100mリレーのアンカーとして出場し、アメリカ、ジャマイカに続き、銅メダルを獲得した。

(校長による銅メダル贈呈式)

6 7.31 **校舎バリアフリー化工事終了**

渡り廊下や玄関等のバリアフリー化、階段の手すりの修理、多目的トイレの設置、管理棟のエレベーターの設置が完成した。

(管理棟1階のエレベーター及び多目的トイレ)



7 8.10 **全国高等学校総合文化祭小倉百人一首かるた読手部門 最優秀賞**



上記の全国大会が富山県で行われ、岡田優（2年）が高校日本一に相当する最優秀賞を受賞した。

8 10.21 **日本ジュニア陸上競技選手権大会 男子110mH全国優勝**

名古屋市で、大学生を含めた20歳未満の選手による上記の全国大会が開催された。矢田弦（3年）が男子110mHにおいて、タイム14秒09で優勝した。



9 12.22～25 **東日本大震災「島根県災害ボランティア隊（高校生）」北高生徒25名参加**



東日本大震災の被災地の復興支援ボランティアを島根県社会福祉協議会と北高が計画し、宮城県南三陸町においてボランティアを行った。

ボランティア隊は、1、2年生25名と教員ら4名で構成。3泊4日（バス内2泊）の日程で出かけ、がれき処理や倒壊家屋の片付けなどの作業を手伝った。

10 H25.3.17 **松江北高通信制課程閉課程式**

平成25年3月17日、通信制閉課程式が松江北高第1体育館で行われ、松江北高通信制課程が56年の歴史に幕を閉じる。

平成25年4月からは、「宍道高校通信制課程」として新たな歴史を刻む。



(島根県立宍道高等学校の正門と校舎)